

議会報告会 実施報告書

実施日時	平成27年11月24日（火）19:00～20:56		
会場	プラザ萬象	来場者数	67人
役割分担	司会進行 福谷正人		
	報告 (議会のしくみ) 米澤光治 (前年度議会報告会に寄せられた意見について) 福谷正人 (総務民生) 堀居哲郎 (産経建設) 和泉明 (文教厚生) 馬淵清和 (予算決算) 北條正		
<p>1. 報告に関する質疑応答及び意見</p> <p>(1) 議会のしくみ 報告のみ</p> <p>(2) 前年度議会報告会に寄せられた意見について 報告のみ</p> <p>(3) 総務民生常任委員会の報告 質疑応答、意見はなかった。</p> <p>(4) 産経建設常任委員会の報告</p> <p>Q1. 昨年度の議会報告会での観光に関する意見交換で市民から出された観光案内看板の設置状況について、議会として理事者と協議したとされるが、協議しただけか。</p> <p>A1. 報告でも説明したとおり、所管の産経建設常任委員会が現地調査し、理事者と改善を協議し、看板の不備を敦賀市が対応した。</p> <p>Q2. 道路照明灯 LED 化推進事業について敦賀市内の照明灯の長期リースを3グループからプロポーザル方式で選定しようだったが選定基準は。</p> <p>A2. 東芝・日立・三菱グループの応募があり東芝に決まった。選定基準は機器の性能と10年間のリース価格、撤去・設置に敦賀市内の電気工事店に委託するという企画提案も決め手と聞いている。</p> <p>(4) 文教厚生常任委員会の報告</p> <p>Q1. 保育園の給食民間委託についての「主な質疑」の中で、アレルギー除去給食と同じきめ細かな対応が民営化でもできるのかという問いに対し、「園の特色は必要だが、早急には難しい」という回答があるが、アレルギーに関しては生命に関わる大変重要なことであり、早急には難しいではなくて、早急にやっていたく対応をお願いしたいと思う。</p>			

A 1. 理事者の方にしっかりと求めていきたいと思う。

Q 2. 今の質問に関する件だが、法律に定められていることだから、「早急に」ではだめなのでないか。市販されているものにもアレルギー表示がされているなど、具体的に決められているので、園児に必要な人がいれば、調査してすぐに対応していかなければならないのではないのか。

A 2. アレルギー除去に関しては、これまでのとおり、各保育園で行っている対応をしていくと聞いている。ただ、園ごとのいろいろな行事食や、季節ごとの取り組みにおいては、一括の委託になるとなかなか進まないため、今後その点についても対応していくとの理事者からの説明であった。

(5) 予算決算常任委員会の報告

Q 1. 当初予算の審議時期はいつで、債務負担行為とは何か。

A 1. 当初予算は3月議会。債務負担行為とは、契約等の債務を負担するだけであって、年度を越えて債務保証を行うが、改めて歳出予算を計上しなければならない。

Q 2. 市立幼稚園の保育料値上げを行政側が説明した日は。また、もう少し早く説明できなかったのか。

A 2. 説明した日は3月19日であり、議会の議決後の対応で理事者側もぎりぎりの時期と受けとめている。

2. 意見交換

(1) 敦賀駅周辺整備について

～新幹線開業に向けて、皆様のご意見をお聞かせください～

Q 1. 坂下には車両基地ができ、周辺環境も変わり農業等の環境も変わると思う。今後は市のお世話になりながら進めていくことになるが、それらについての様々な事柄について話し合うような集まりが地区にはない。地区で話し合い意見をまとめて市に持ち込んだほうがよいのか、今後どのようにしていったらよいか。

A 1. 地区によってやり方はさまざまだが、個人の意見を直接議会や市役所の担当課に持ち込んでも、地区で話し合いをして地区の要望として持ち込んでいただいても、どのような形でも構いません。

Q 2. 市立病院には先端医療施設を設置するスペースがない。これを駅前に整備してはどうか。また PET 施設についても福井の大きな病院と小浜病院にあるのになぜ敦賀にはないのか。忘れられているように思う。これらの施設は三法交付金

など国のお金で整備することができるのではないか。またそれらができれば付随してさまざまな施設ができると思う。敦賀市民の健康のために役立つとともに敦賀は医療先進地だというイメージアップにもつながると思う。

新幹線が敦賀まで来るからといってそれだけで金沢のように観光客が押し寄せてくることはないと思う。本当のまちづくりをしなければならぬし、宿泊してくれるだけの魅力あるまちにしなければならない。

シンガポールのように敦賀にシンボルを作るべきだ。敦賀の港が昔からの交通の要衝であったことをPRすべき。

A 2. 所管の文教厚生常任委員会でも今後の議論の参考とさせていただきたい。

Q 3. 新幹線が来た場合、敦賀駅での乗降客は個人的に1便100名程度の乗降客であろうと推測している。これでは全然足りない。年間100万人くらい来てもらえるようなまちづくりが可能であると思っている。来てくれる、ではなく来させるといった考え方でなければならない。

1日に100人の想定か10万人の想定かで駅前整備計画が変わってくると思う。しっかりと乗降客を想定して計画を進めなければならない。

A 3. 今後そういったことを十分勘案しながら整備計画を進めていきたいと思う。

Q 4. オルパークのうどん屋さんがトイレの前であって食事する気にならない。また床でラーメンを作っているところもある。衛生的に問題があるし食べる気にならない。もう少し考えるべきではないか。

A 4. 現状を確認して対応したい。

Q 5. 中心市街地全体の中で駅前の位置づけをしっかりとしないと、駅前だけを論じても意味がない。赤レンガ倉庫や博物館通りの整備も進み、駅から本町、気比神宮、金ヶ崎、博物館、神楽とまわって本町から駅へ戻る流れを作る中で、新幹線が来るまでの7年間は短いと思う。早急に取りかからないと間に合わない。質疑応答の形式ではなく、車座で党や会派を超えてフリーに意見交換をする場をなるべく多く設けてほしい。敦賀が終着駅の間はいいが、延伸した場合、敦賀が通過駅になる危惧がある。全線開通した後も、ぜひ敦賀へと言われるようになる絶好のチャンスが来ていると思っている。

A 5. そういったことを念頭に置いて考えていく。フリーの意見交換の場も議会として検討していく。

Q 6. 他の市町では観光協会が駅前にあることが多い。現在敦賀では本町にあるが、市民でもどこにあるかわからない人も多い。ぜひ駅前に置くべき。

A 6. 市側へ伝え、議会としても検討していく。

(2) 市議会、市政への意見

Q 1. 議員はどのような手段で市民の意見を吸い上げているのか。また、市の広報物等を配布するために出されている交付金について適正な取り扱いとなるように指導してほしい。

A 1. 議員それぞれのやり方があると思うが、例としていろいろな集会に参加したり市政報告チラシを配ったりしたときの反応、また議会報告会でのご意見などにおいて市民の皆さんのご意見を市政に反映させている。

交付金については事実関係がわからないので調査の上対応したい。

Q 2. どこへ意見を言ったらいいかわからない。

A 2. 議会に直接ご意見を持ち込んでいただくときは市役所の5階、議会事務局に持ち込んでいただければ対応させていただきます。

Q 3. 今年は水戸市との姉妹都市提携50周年である。何か記念事業を行わないのか市側に問い合わせをし、何もないなら記念誌を出したいと提案し好感触だったが、その後何の連絡もないし議会にも伝わっていない。50周年の記念事業は何もしないのか。こういうことがあると結局意見を言っても、貴重なご意見をありがとうございますで終わってしまうと思ってしまう。そういうことがないようにしてほしい。

A 3. この12月議会に補正予算として50周年記念の事業が予算化されている。議会としても、貴重なご意見いただきましたで終わらないよう、しっかりと皆さんのご意見を反映して市政に生かしていく姿勢は変わらない。今後とも貴重なご意見をお聞かせいただきたい。

Q 4. 原子力行政について市長と議会はどのような形でコミュニケーションをとっているのか。

A 4. 議会として普段直接市長と原子力行政についてやりとりする場はなく、原子力特別委員会で市の担当部局に対し、原子力行政の方向性等について調査をしている。議員個人としては一般質問等を通じ、直接市長と議論をしている。

3. 反省点など

(1) 総務民生常任委員会

- ・委員会内で連携をとりながら準備ができてよかったと感じている。
- ・報告内容も敦賀市の重要案件であったので、しっかり報告できてよかった。

- ・もう少し活発な質疑応答を促すため次回以降報告内容、方法を工夫していきたい。

(2) 産経建設常任委員会

- ・リハーサルでは LED 化に関連するものの、全く別の事業報告も入れたことにより報告内容がややこしいとの指摘でその部分をカットした。それにより説明時間はかなり短くなったが一連の流れの中でわかりやすくなったと思う。
- ・特に反省点はないが、正副委員長で進めすぎたかも知れない。委員会ごとの報告書作成は委員会全員で対応する必要があるので他の委員にもお願いすべきだった。

(3) 文教厚生常任委員会

- ・質問のあった、保育園給食に関する「主な質疑」の2つめの項目は、
「問」・・・「これまで各園で独自に行ってきた給食メニューやアレルギー除去給食と同じきめ細かな対応が民営化でもできるのか?」
「答」・・・「園の特色は必要だが、早急には難しい。仕様書の中で検討していく。」
という内容であったが、「答」の、「早急に難しい」という文言は、「問」の「これまで各園で独自に行ってきた給食メニュー」「それに対するきめ細かな対応」に対してのものであり、アレルギー除去給食に対するものではなかった。

その点で、言葉足らずの表記であったことは、大きな反省点である。

- ・予算決算常任委員会における質疑の中で取り上げられた、17 ページの保育園給食業務委託料の「債務負担行為」についてであるが、質問に対して、納得していただくだけの明確な回答がなされなかった点が心残りである。

(4) 予算決算常任委員会

- ・債務負担行為の説明は難しく、時間をとって回答できないこともあり、簡略化してしまった。報告会后、質問者と話し合っって疑問点は解消できた。

(5) 広報広聴委員会

- ・全体的に進行、時間配分、質疑への応答などスムーズにできたのではないかと思う。
- ・長い意見を述べる人がいること、同じ人が何度も発言することが多いが、なるべく多くの方に発言してもらえようような進行を心がけるべきだと感じる。

4. アンケート

アンケートで寄せられた意見については、別添のとおり。

以上

敦賀市議会議長 有馬 茂人 殿

平成27年12月22日

敦賀市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

代表者 広報広聴委員長 米澤 光治